

事業報告書

令和7年度(第2回)

(自 令和7年4月1日 至 令和8年3月31日)

公益財団法人 **大原芸術財団**

目 次

頁

I. 事業の概要

- | | |
|------------------|-----|
| 1. 本年度入館者数及び開館日数 | 1～2 |
| 2. 主な事業 | 3～9 |

II. 庶務の概要

- | | |
|-------------------|----|
| 1. 役員に関する事項 | 10 |
| 2. 職員に関する事項 | 11 |
| 3. 理事会・評議員会に関する事項 | 11 |
| 4. その他の事項 | 11 |

III. 会計報告

- | | |
|-----------------|-------|
| 1. 貸借対照表 | 12～13 |
| 2. 正味財産増減計算書 | 14～15 |
| 3. 正味財産増減計算書内訳書 | 16～17 |
| 4. 財務諸表に対する注記 | 18～19 |
| 5. 財産目録 | 20～21 |
| 6. 財産目録明細書 | 22～25 |

I. 事業の概要

1. 大原美術館の本年度入館者数及び開館日数

	本 年 度	前 年 度	増 減	前年比
入館者数	228,398 人	240,440 人	△ 12,042 人	95 %
開館日数	279 日	308 日	△ 29 日	91 %
臨時休館	0 日	2 日	△ 2 日	
		R6.8/30.31		

<月別比較>

	本 年 度	前 年 度	増 減	前年比
4月	22,621 人	16,722 人	5,899 人	135 %
5月	28,861 人	26,323 人	2,538 人	110 %
6月	17,252 人	17,423 人	△ 171 人	99 %
7月	16,605 人	17,093 人	△ 488 人	97 %
8月	27,002 人	24,201 人	2,801 人	112 %
9月	19,504 人	20,377 人	△ 873 人	96 %
10月	30,969 人	26,182 人	4,787 人	118 %
11月	33,546 人	27,255 人	6,291 人	123 %
12月	16,494 人	13,668 人	2,826 人	121 %
1月	11,920 人	11,128 人	792 人	107 %
2月	3,579 人	14,283 人	△ 10,704 人	25 %
3月	45 人	25,785 人	△ 25,740 人	0 %
合 計	228,398 人	240,440 人	△ 12,042 人	95 %

<内 訳>

	本 年 度	前 年 度	増 減	前年比
個 人	217,821 人	229,253 人	△ 11,432 人	95 %
無 料	10,577 人	11,187 人	△ 610 人	95 %
計	228,398 人	240,440 人	△ 12,042 人	95 %

2. 倉敷考古館の本年度入館者数及び開館日数

	本 年 度	前 年 度	増 減	前年比
入館者数	3,116 人	3,228 人	△ 112 人	97 %
開館日数	166 日	169 日	△ 3 日	98 %
臨時休館	0 日	2 日	△ 2 日	
		R6.8/30.31		

< 月別比較 >

	本 年 度	前 年 度	増 減	前年比
4月	192 人	180 人	12 人	107 %
5月	302 人	196 人	106 人	154 %
6月	186 人	173 人	13 人	108 %
7月	304 人	158 人	146 人	192 %
8月	205 人	204 人	1 人	100 %
9月	139 人	268 人	△ 129 人	52 %
10月	376 人	381 人	△ 5 人	99 %
11月	626 人	291 人	335 人	215 %
12月	245 人	187 人	58 人	131 %
1月	156 人	190 人	△ 34 人	82 %
2月	205 人	227 人	△ 22 人	90 %
3月	180 人	773 人	△ 593 人	23 %
合 計	3,116 人	3,228 人	△ 112 人	97 %

< 内 訳 >

	本 年 度	前 年 度	増 減	前年比
個 人	2,665 人	2,633 人	32 人	101 %
無 料	451 人	595 人	△ 144 人	76 %
計	3,116 人	3,228 人	△ 112 人	97 %

2. 主な事業

令和7年度(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

(1)調査・研究事業

ア. 所蔵品、および所蔵する歴史資料の調査・研究

所蔵品調査

総目録作成とデジタルデータベースの整備を視野に、日本人作家の作品調査を中心に行う。令和7年度は芹沢銈介の作品を中心に調査、作品撮影を行った。

歴史資料調査

各館内で保管する歴史資料の調査、データ整理。基本的に1999年以前の資料、記録を対象とする。

記録資料調査

各館内で保管する近年の展覧会や貸出などの事業に関する資料の調査およびデータ整理。基本的に2000年以後の資料、記録を対象とする。

イ. 所蔵品、および所蔵する歴史資料に関わる調査・研究

児島家所蔵児島虎次郎関連資料調査

児島家所蔵の児島虎次郎関係資料の調査を実施。資料撮影、リスト化と読み起こしを中心に進めた。

ウ. 所蔵品、および資料に関する情報のデータベース整備

所蔵品管理システムArtizeの整備

所蔵品管理システムArtize(アルタイズ)の試験的運用開始。修正点、課題が多々残っているうち、主に画像トリミングに関する設定を実施した。

エ. 大学、研究機関との共同研究

岡山理科大学と倉敷考古館との共同研究

ウエスコ事業としてバンチェン出土品の遺跡調査を行った。

佐世保市教育委員会と倉敷考古館との共同研究

ウエスコ学術振興財団助成研究の一環として研究を行った。

東北大学と大原美術館との共同研究

大原美術館における「未就学児童対象プログラム」に関する調査。

岡山大学と大原美術館との共同研究

大原美術館における「対話型作品鑑賞」に関する調査。

エル・グレコ《受胎告知》修復プロジェクト

エバ・マルティネス氏(ブラド美術館)によるエル・グレコ《受胎告知》の修復とその成果のアウトプット。修復後の展示公開を伴う。また、令和8年度中に報告書刊行・シンポジウム開催予定。一般財団法人クラレ財団の助成を受けた(クラレ100周年記念事業)。マルティネス氏の修復滞在は7月16日から8月10日。

東京大学と大原美術館との共同研究

東京大学寺田寅彦研究室の科研費研究の一環として、所蔵品の中から海外作家作品を数点選びそれらの移動履歴のマッピングを実施した。

オ. ウエスコ学術振興財団助成研究

研究課題「倉敷考古館所蔵のタイ、バーン・チアン遺跡出土品についての追跡調査」を実施した。

カ. 大原芸術研究所研究会

研究部メンバーを軸とした研究会。月1回の実施を基本として開催した。

キ. 外部研究者による調査の受入

所蔵品、および所蔵する歴史資料の熟覧依頼などの受入を随時行った。

実施日: 依頼に応じて / 実施場所: 大原美術館、倉敷考古館など

ク. 図書・文献資料管理

図書・文献資料の管理

寄贈図書の受入、所蔵品および施設に関わる図書・文献資料の購入および登録、管理を行った。また、図書室の整備やそれに伴う資料分類の見直しを、司書採用と合わせて検討した。高階文庫の整理(受入、資料の仕分け、アーカイブ化、データベース化など)を含む。

児島虎次郎記念館資料室保存の資料整理

移動資料の仕分け、児島文庫・神原泰文庫情報のデジタル化などを含む。

(2) 展示事業

ア. 特別展

令和7年春の有隣荘特別公開 有隣荘へようこそ！現代アートでおもてなし

有隣荘特別公開での所蔵品による展覧会。所蔵品の中から、現代作家の作品15件を展示。瀬戸芸美術館連携プロジェクトの一環となり日本博の助成を受けた。

会期：令和7年4月18日(金)～5月11日(日)／会場：有隣荘／入場者数：9,709名

森村泰昌「ノスタルジア、何処へ。」—美術・文学・音楽を出会わせる—

現代作家森村泰昌の個展。令和7年秋の有隣荘特別公開を兼ねて開催した。瀬戸芸美術館連携プロジェクトの一環となり日本博の助成を受けて実施した。会期中、森村氏、三浦館長、ドリアン・チョン氏(M+学芸員)によるシンポジウムを実施した。また、展覧会図録を令和7年10月7日に発行した。

会期：令和7年10月7日(火)～11月9日(日)／会場：有隣荘、本館、児島虎次郎記念館／入館者数：38,971人

イ. 連携展

列島展を応援！福井洞窟遺跡と岡山の考古学者

佐世保市で行われる「発掘された日本列島展」の開催時期にあわせて紹介パネルを設置した。

会期：令和7年7月18日(金)～8月31日(日)／会場：倉敷考古館1室

パネル展「鶴島から探るキリシタン」

キリシタン遺跡をテーマとした展覧会。岡山理科大学の協力で測量成果のパネル展を行った。

会期：令和8年2月27日(金)～5月31日(日)／会場：倉敷考古館3室

ウ. 企画展

1925展

大原美術館会場 1925:ピカソ・フジタ・ヤクシージー むすび100年前

倉敷考古館会場 1925:百年前の考古学 — 好古から考古へ

大原美術館では、1925年に制作されたパブロ・ピカソ《鳥籠》と藤田嗣治《舞踏会の前》、ならびに建築界のアール・デコの先駆者 薬師寺主計の建築に主眼をおいて1925年を検証した。倉敷考古館では、児島虎次郎の考古学への眼差しを100年前の日本の考古学史の中から検証し、かつ1925年前の高梁川東西用水工事にともなう発掘調査に焦点を置いた展示を行った。また、11月2日に1925座談会「アウト・オブ・民藝と芽づる1925年」、11月29日に1925シンポジウム&建築ツアー「1925を建築から開く—さらに開いて考古、民藝、美術」を実施した。また、展覧会図録を令和8年1月31日に発行した。

会期：令和7年10月2日(木)～12月22日(日)／会場：大原美術館本館5・6室

会期：令和7年10月3日(金)～12月22日(日)／会場：倉敷考古館4室

エ. コレクション展

OHARAコレクション・ハイライト 収集の軌跡：絵画・彫刻編

大原美術館の作品収集の歴史に焦点を当て、所蔵作品と関連資料で構成する展覧会。

会期：令和6年9月28日(土)～令和8年2月8日(日)／会場：大原美術館本館

一般財団法人クラレ財団助成 エル・グレコ《受胎告知》修復後初公開—プレ再展示—

エル・グレコ《受胎告知》修復後、作品の展示復旧に伴い、修復の成果を伝える展示を行った。

会期：令和7年10月21日(火)～12月21日(日)／会場：大原美術館本館3室

芹沢銈介と文字

年4回実施する芹沢銈介室の常設展示の展示替えのうち、7月1日～8月31日の会期でコレクション展を実施。芹沢の獨創性がうかがえる文字意匠があらわれた作品や、挿絵・装幀集を中心に展示した。

会期：令和7年7月1日～8月31日／会場：大原美術館工芸・東洋館 芹沢銈介室

オ. その他

大原美術館所蔵 名画への旅—虎次郎の夢

大原美術館のコレクションを中心に児島虎次郎が旅した国の作品を展覧した。入館者は40,400人。

会期：令和8年1月3日(土)～3月29日(日)／会場：中之島香雪美術館

(3) 作家協同交流事業

ARKO (Artist in Residence Kurashiki, Ohara)

「作家協同交流事業」として事業を再開した。令和7年4月より公募開始、同7月24日に三浦館長、財団職員、名知聡子(ARKO2016参加アーティスト)、谷原菜摘子(ARKO2023参加アーティスト)により審査会を行い、対象者を小瀬真由子氏に決定した。令和8年2月に事前取材を行い、令和8年度の滞在制作及び作品公開展示のスケジュールを決定した。

(4)教育普及事業

ア. 包括的教育普及企画

なんなんDAYS2025

「ミュージアムで出会うなんなん？」をテーマにした大型ワークショップイベント。
日程: 令和7年11月15日(土)、16日(日) / 会場: 大原美術館、倉敷考古館

イ. ワークショップ

いこう de オオハラ

所蔵作品・建築物などに親しむ多彩なワークショップ・プログラムを以下ように実施した。

■ 児島虎次郎の好きなエジプトを見に行こう！

日程: 令和7年4月19日(土)計2回 / 会場: 大原美術館児島虎次郎記念館 / 定員: 各回12名 / 対象: 小学生以上どなたでも / 参加者数: 18人

■ 5000年前のくらしを見てみよう！ 考古館で歴史ツアー

日程: 令和7年5月17日(土)計2回 / 会場: 倉敷考古館 / 定員: 各回12名 / 対象: 小学生以上どなたでも / 参加者数: 17人

■ ひらめき広がる！ わたしだけの《睡蓮》づくり

日程: 令和7年7月26日(土)、27日(日)計4回 / 会場: 大原美術館本館、研修室 / 定員: 各回10名 / 対象: 5歳児以上 / 参加者数: 33人

■ 何を混ぜる？ 絵の具×素材で新しい質感を発見しよう！

日程: 令和7年8月11日(月・祝)計2回 / 会場: 大原美術館本館、研修室 / 定員: 各回10名 / 対象: 小学生以上 / 参加者数: 19人

■ 古代の輝きに触れる ～銅鏡づくり体験ワークショップ～

日程: 令和7年8月9日(土)、23日(土)計2回 / 会場: 倉敷考古館 / 定員: 各回4名 / 対象: 小学生以上 / 参加者数: 10人

■ 大人のための「じっくり、ゆっくり、スケッチでアートと対話」

日程: 令和7年12月7日(日) / 会場: 大原美術館 / 定員: 20名 / 対象: 18歳以上 / 参加者数: 9人

■ ヒエログリフで新年の書初め体験！ ～古代エジプト文字を書いて、読んで、楽しもう～

日程: 令和8年1月10日(土) / 会場: 大原美術館(児島虎次郎館記念) / 定員: 各回12名 / 対象: 小学生以上 / 参加者数: 23人

フレンドリートーク

ボランティア・スタッフ「アテンダント・スタッフ」による大原美術館展示室内での対話型作品鑑賞ツアー。

日程: 毎週 土曜日(13:30～)、日曜日(11:00～) / 会場: 大原美術館本館 / 定員: 各回6名 / 対象: すべて / 参加者数: 434人

ウ. 学校・園との協働プログラム

学校まるごと美術館

休館日に近隣小学校の児童全員が来館。大原美術館やその作品を教材とした授業を学年毎に実施。

実施日: 令和7年12月8日(月)、令和8年1月26日(月) / 実施場所: 大原美術館館内各所 / 参加校: 倉敷市立倉敷東小学校(児童270人、引率17人)、倉敷市立倉敷西小学校(児童171人、引率17人)

未就学児対象プログラム おさんぽ美術館

保育園・幼稚園・こども園の児童が来館し、鑑賞・パズル・模写などのプログラムを体験。

実施日: 各園と相談の上決定 / 実施場所: 大原美術館本館や工芸・東洋館、倉敷考古館 / 参加園: 倉敷市内ほかの保育園・幼稚園・こども園26園、および単発参加園7園 / 参加者数: 33園(回)、園児1,861人、引率192人

倉敷中央病院院内学級訪問

休館日に近隣小学校の児童全員が来館。大原美術館やその作品を教材とした授業を学年毎に実施した。

実施日: 令和7年6月6日(金)、9月11日(木)、12月2日(火)、3月18日(水)(年間4回実施) / 実施場所: 倉敷中央病院院内学級 / 参加校: 倉敷中央病院院内学級(倉敷市立倉敷東小学校、倉敷市立東中学校) / 参加者数: 33人

エ. 出張講演・出張ワークショップ

スタッフが依頼先へ出向いて講演やワークショップを実施した。

実施日: 依頼に応じて随時 / 実施場所: 学校ほか各種施設

オ. 学校団体への鑑賞支援

ウェルカム・プログラム、対話型鑑賞

入館前の「観賞マナーについて」などのレクチャーや、スタッフと対話しながら鑑賞する、学校団体向けのプログラム。

実施日：依頼に応じて随時／実施場所：大原美術館本館など／参加者数：145団体、児童、生徒7,926人、引率者702人
／自由鑑賞を含む来館実績：299団体、児童、生徒12,715人、引率1,047人

倉敷芸術科学大学(1年生対象)対話型鑑賞プログラム

倉敷芸術科学大学では制作体験・対話型鑑賞を授業化することを目指した体験型授業を開発しており、その一環として当館で対話型鑑賞を実施した。

実施日：令和7年5月10日(土)、11日(日)、6月28日(土)、29日(日)、10月11日(土)、12日(日)、12月13日(土)、14日(日)／実施場所：大原美術館本館／参加者数：265人

カ. 研修受入

企業・団体の受入

作品鑑賞や美術館機能の実体験をはじめ、自己研鑽を目的とする複合型研修。

実施日：依頼に応じて随時／実施場所：大原美術館、児島虎次郎記念館など／計20企業、計436人

キ. 実習受入

職場体験の受入

中学・高校生の職場体験、大学の短期インターンシップの受入。

実施日：5月8日(木)、22日(木)、7月3日(木)、7月23日(水)～24日(木)、8月6日(水)～8日(金)／実施場所：大原美術館本館、倉敷考古館など

博物館実習の受入

〔大原美術館会場〕実施日：令和7年8月25日(月)～29日(金)／実施場所：大原美術館、児島虎次郎記念館／定員：15人程度／対象：大学生／参加者数：26人(うち1名はオンラインによる参加)

〔倉敷考古館会場〕実施日：令和7年8月6日(水)～10日(日)、8月20日(水)～24日(日)／実施場所：倉敷考古館／定員：各回5人程度／対象：大学生／参加者数：6人

ク. ボランティア・スタッフの受入

アテンダント・スタッフの受入

日々の大原美術館の活動にボランティアな立場で携わるスタッフの受入やその活動の運営。39人が活動。

活動場所：大原美術館など

ジュニア・アテンダント・スタッフの受入

日々の大原美術館の活動にボランティアな立場で携わるスタッフ(16歳以上20歳以下)の受入やその活動の運営。21人が活動。

活動場所：大原美術館など

ケ. その他

大原美術館を活用したい先生のための美術館体験会

小・中・高などの学校の教諭を対象に、大原美術館の歴史、美術館での過ごし方などを紹介。子どもたちの学習に役立ててもらうことを目的としたプログラム。

実施日：令和7年8月5日(火)／実施場所：大原美術館、倉敷考古館、児島虎次郎記念館／参加者数：15人

(5) 鑑賞支援事業

一般向け特別プラン

有隣荘特別プラン

通常非公開の有隣荘を事前予約の団体限定で特別公開。特別解説員が、建物の歴史、時代背景、展示作品などを紹介するプラン。

実施日：依頼に応じて随時／実施場所：有隣荘／実施件数：14件284人

大原美術館 モーニングツアー

開館前の美術館を貸し切り、特別解説員と語り合いながら展示室をまわるツアー。個人募集型と団体予約型がある。

実施日：随時／実施場所：大原美術館本館／実施件数：42件616人

大原美術館 アフタヌーンツアー

閉館後の美術館を貸し切り、特別解説員と語り合いながら展示室をまわるツアー。個人募集型のみ。2025年度にはじめて実施。

実施日：令和7年12月～令和8年2月の第2・第4日曜日／実施場所：大原美術館本館／実施件数：5件28人

大原美術館 イブニングツアー 閉館後の美術館を貸し切り、特別解説員と語り合いながら展示室をまわる団体予約型のツアー。 実施日：依頼に応じて随時／実施場所：大原美術館本館／実施件数：23件442人
ミステリーツアー 閉館後の大原美術館工芸・東洋館と倉敷考古館で実施した。案内人に誘われてミステリアスな夜のニュージামの謎を解く内容。 実施日：令和7年10月11日(土)、25日(土)／実施場所：大原美術館工芸・東洋館、倉敷考古館／参加者数：23人
歴史探訪 美観地区一帯の建物を特別解説員が解説しながら巡るツアー。 実施日：予約に応じて随時／実施場所：大原美術館、児島虎次郎記念館、倉敷国際ホテル他／参加者数：2件37人
作品解説・レクチャー 学芸員や解説員による、大原美術館の歴史や作品について観賞前に実施するレクチャー。15分と30分、2種類のプランがある。 実施日：依頼に応じて随時／実施場所：大原美術館研修室など／実施件数：45件725人
招宴 イブニングツアーと展示室などを会場にした飲食を伴うパーティーの受入。 実施日：令和7年8月28日(木)／40人、12月10日(水)／57人／実施場所：大原美術館本館、有隣荘など／主催：各団体
(6) 出版事業
大原芸術研究所紀要 第1号 2025 大原芸術研究所の研究員による論稿を中心とした内容。令和7年4月1日発行。 大原芸術研究所 叢書1 公益財団法人大原芸術財団 大原美術館所蔵 バーナード・リーチ陶磁器作品 目録・解説 継続事業。所蔵品バーナード・リーチ作品に関する鈴木禎宏氏による研究報告書。令和7年12月31日発行。
(7) 作品貸出 所蔵品、および所蔵する歴史資料の貸出依頼に対応。約20件の依頼に対応した。
(8) 作品収集 次の作品を新規収集した。 ・VOCA2025大原美術館賞受賞作品 高木優希《Room》 ・アルフレッド・シスレー《1987年の冬の朝》、モーリス・ユトリロ《雪のモンマルトル ムーラン・ド・ラ・ガレットとサクレ・クール寺院》の2点を、高砂熱学工業株式会社[東京都新宿区]から寄贈を受けた。
(9) コレクションの保存処置 次の作品の修復を行った。 ○エル・グレコ 1001《受胎告知》 ○児島虎次郎 4149《凝視》、4013《窓辺の少女》、4120《花》、4144《花》、4147《蓮の花》 ・一般財団法人クラレ財団の助成による所蔵作品修復として、上記児島虎次郎の4作品の保存修復処置を実施した。 ・一般財団法人クラレ財団の助成によってエル・グレコ《受胎告知》をブラド美術館の修復技術者の協力を得て修復した。
(10) PR 事業
倉敷記者懇談会 マスコミ関係者向けの事業説明会を行った。 実施時期：令和7年7月4日(金)／会場：倉敷国際ホテル
まんじゅう会(地元懇談会) 地元ボランティア、コンベンション・ビューローなど、近隣が対象。 実施時期：令和7年6月25日(水)／会場：倉敷物語館
FM くらしき「あーと@オオハラ」 ラジオ番組のディレクションおよびパーソナリティーをつとめる。 放送日：第二、第四金曜日／放送：FM くらしき
FM おかやま「アート・美・ト・大原美術館」 ラジオ番組のディレクションおよびパーソナリティーをつとめる。 放送日：毎月第3木曜日／放送：FM 岡山

オンラインでの情報発信 大原美術館ホームページや投稿サービス note、SNS サービス(X、Facebook、Instagramなど)、アカウントの運営および情報発信を行った。 発信日: 随時
キャラバン活動 外部団体のイベント会場などでのワークショップや物販による、大原美術館のPRを行った。 ・イオンモール倉敷でワークショップを(ワークショップ名画ぬりえ) / 実施日: 令和7年8月2日(土)、3月7日(土) / 実施場所: イオンモール倉敷 / 参加者: 計223人 ・高梁川流域SDGsアクションフェア2025(ワークショップ名画ぬりえ) 実施日: 令和7年9月20日(土)、21日(日) / 実施場所: イオンモール倉敷 / 参加者: 209人 ・大阪万博(ひょうごフレンドリーシップ) 実施日: 令和7年9月27日(土)、28日(日)、29日(月) / 実施場所: 大阪万博会場 / 参加者: 計1,983人 ・せとうち島旅フェス2025(ワークショップ名画ぬりえ) 実施日: 令和7年5月17日(土) / 実施場所: 与島イベント会場 / 参加者: 24人
(11)収益事業
貸会場
婚礼前撮り 実施日: 令和7年4月5日(土)、11月20日(木)、令和8年1月22日(木) 計3件 / 実施場所: 大原美術館本館前
敷地内を活用したイベント 岡山フィルムプロジェクト記者会見 実施日: 令和7年6月2日(月) / 実施場所: 大原美術館本館
映画撮影(岡山フィルムプロジェクト) 実施日: 令和7年6月28日(土) / 実施場所: 有隣荘
(12)修繕・工事
分館 高圧受変電設備(キュービクル)の更新。地下から地上階へ新設した。 実施期間: 随時
本館・事務棟 本館は、地下受変電装置や空調・LEDの更新、アトリウム天井のブラインド撤去と更新等を実施した。事務棟は、主に2階事務所や控室の環境改善のため、事務機器・家具やカーペットを更新する等、レイアウト変更を実施した。 実施期間: 令和8年2月9日～4月24日(75日間)
(13)その他
児島虎次郎記念館 令和7年4月3日(木)グランドオープン 児島虎次郎の絵画と、古代エジプト・西アジアの美術品を展示。開館時間を10時からとして運営。
OHK朗読会 大原美術館とあなたが紡ぐ物語～小川洋子がいざなう朗読会Ⅶ～ 実施日: 令和7年6月7日(土) / 実施場所: 大原美術館本館 / 主催: 公益財団法人大原芸術財団、OHK岡山放送
開館95周年記念講演会 「銀行建築からみる近代倉敷の姿」 講師: 上田恭嗣氏 / 実施日: 令和7年11月5日(水) / 会場: 大原美術館本館2室 / 参加者: 計76人
高階秀爾顕彰記念シンポジウム 追悼シンポジウム「高階秀爾館長と大原美術館」 登壇: 河野元昭氏、津上みゆき氏 / 実施日: 令和7年10月17日(金) / 会場: 倉敷公民館 / 聴講者: 約100人
「はじめての寄付」イベント ※寄付月間企画特別賞【美術館賞】を受賞した 実施日: 令和7年12月28日(日) / 実施場所: 本館出口 / 寄付者: 67人
有隣荘 春宵特別公開(春宵あかり協力イベント) 実施日: 令和8年3月7日、14日、21日、28日(いずれも土曜日) / 17:00～19:00 / 来場者: 計858人

連携協定に基づくイベント**おもちゃ王国との共同イベントを開催**

・ワークショップ(ファラオの王冠づくり)

実施日: 令和7年4月13日(日)／実施場所: おもちゃ王国／参加者: 45人

・親子鑑賞ツアー

実施日: 令和8年2月7日(土)／実施場所: 大原美術館本館／参加者: 31人

ファジアーノ岡山との共同イベントを開催(ワークショップアートぶんぶんごま)

実施日: 令和7年9月13日(土)／実施場所: シゲトーアリーナ／参加者: 117人

ありがとうファームとの共同イベントを開催(対話型鑑賞＋ワークショップ実施)

実施日: 令和7年12月23日(火)／実施場所: 大原美術館本館／参加者: 36人

Ⅱ. 庶務の概要

1. 役員に関する事項

(1)理事・評議員・監事

令和8年3月31日現在

役 名	氏 名	就任年月日	手当	略 歴	備考
代表理事	大原 あかね	令和7年6月27日	なし	株式会社三楽 代表取締役 副会長	
業務執行理事	藤田 文香	令和7年11月28日	同	公益財団法人大原芸術財団 本部長	
同	三浦 篤	令和7年6月27日	同	大原芸術研究所 所長、大原美術館 館長 國學院大學 教授、東京大学 名誉教授	
理 事	山花 京子	同	同	倉敷考古館 館長 東海大学 教授	
同	板倉 聖哲	同	同	東京大学東洋文化研究所 教授	
同	大原 秀行	同	同	絵画修復家 吉備国際大学 名誉教授	
同	御立 尚資	同	同	京都大学経営管理大学院 客員教授	
同	大橋 宗志	同	同	一般財団法人備前市文化芸術振興財団 理事長	
同	木村 正明	同	同	東京大学 特任教授 ファジアーノ岡山 オーナー	
同	松本 直子	同	同	岡山大学文明動態学研究所 副所長	
同	田中 慶子	同	同	株式会社Art of Communication 代表	
同	大原 碩人	同	同	株式会社三楽 取締役	
評議員	大原 謙一郎	令和7年6月27日	同	公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 理事・会長	
同	児島 塊太郎	同	同	陶芸家 加計美術館 館長	
同	猪木 武徳	同	同	国際日本文化研究センター 名誉教授 大阪大学 名誉教授	
同	高階 絵里加	同	同	京都大学大学院地球環境学堂 教授 京都大学人文科学研究所 教授	
同	伊藤 正明	同	同	株式会社クラレ 取締役会長	
同	藤田 晴哉	同	同	倉敷紡績株式会社 代表取締役会長	
同	加藤 貞則	令和6年6月18日	同	株式会社ちゅうぎんフィナンシャルグループ代表取締役社長	
同	伊藤 謙介	令和7年6月27日	同	京セラ株式会社 元会長	
同	虫明 優	同	同	株式会社三楽 代表取締役社長	
同	大高 保二郎	同	同	早稲田大学 名誉教授	
監 事	森脇 正	同	同	弁護士	
同	井上 信二	同	同	公認会計士	

理事12名 評議員10名 監事2名

2. 職員に関する事項 (令和8年3月31日現在)

所長／館長	三浦 篤	
館長	山花 京子	
本部長	藤田 文香	
財団本部	柳沢 秀行	ほか1名
事業部	藤田 文香	ほか20名
研究部	孝岡 睦子	ほか8名
出向	門利 博子	ほか10名
パート職員	42名	
職員数計	83名	

3. 理事会・評議員会に関する事項

年 月 日	種 別	会 議 の 目 的	結 果
令和7年6月10日	理事会	令和6年度(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)貸借対照表、正味財産増減計算書、貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書、財産目録承認の件	承認
		評議員候補者選任の件	承認
		理事候補者選任の件	承認
		第2回定時評議員会開催日時、場所、議案決定の件	承認
令和7年6月27日	評議員会	令和6年度(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)貸借対照表、正味財産増減計算書、貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書、財産目録承認の件	承認
		評議員選任の件	承認
		理事選任の件	承認
令和7年6月27日	理事会 (書面決議)	代表理事選定の件	承認
		業務執行理事選定の件	承認
		代表理事以外の理事の順序決定の件	承認
令和7年10月10日	理事会 (書面決議)	理事候補者選任の件	承認
		評議員会の決議省略について	承認
令和7年10月25日	評議員会 (書面決議)	理事の選任の件	承認
令和7年11月28日	理事会 (書面決議)	業務執行理事選定の件	承認
		代表理事以外の理事の順序決定の件	承認
令和7年12月26日	理事・評議員 懇談会	退任・新任のご挨拶、2025年度収支中間報告、財務状況、中長期計画等のご報告、意見交換	
令和8年3月25日	理事会	令和8年度(令和8年4月1日から令和9年3月31日まで)事業計画案、収支予算案、資金調達及び設備投資の見込み承認の件	承認
		利益相反取引承認の件	承認

4. その他の事項

1 令和7年6月30日	事業報告等に係る提出書を岡山県に提出
2 令和7年8月8日	変更に係る届出書(理事・評議員)を岡山県に提出
3 令和7年12月5日	変更に係る届出書(理事)を岡山県に提出
4 令和8年3月30日	事業計画等に係る提出書を岡山県に提出

事業報告の附属明細書

記載事項ありません

Ⅲ. 会 計 報 告

貸借対照表 令和 8年 3月31日現在

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	5,286,466	5,123,146	163,320
預金	326,847,253	272,905,156	53,942,097
売掛金	18,828,070	12,538,137	6,289,933
立替金	2,607,723	-	2,607,723
未収入金	2,389,968	16,381,404	△ 13,991,436
未収消費税	-	5,934,800	△ 5,934,800
たな卸資産	3,706,540	3,645,384	61,156
流動資産合計	359,666,020	316,528,027	43,137,993
2. 固定資産			
(1)基本財産			
建物	2	2	-
土地	4,087,000	4,087,000	-
美術工芸品	2,925,090,681	2,925,090,681	-
投資有価証券	3,583,750	3,583,750	-
所蔵品(基)	93,765	93,765	-
基本財産合計	2,932,855,198	2,932,855,198	-
(2)特定資産			
所蔵品	13,258,000	13,258,000	-
退職給付引当資産	122,786,000	125,000,000	△ 2,214,000
備品等取得積立資産	-	146,665,064	△ 146,665,064
公益目的積立定期預金	-	50,000,000	△ 50,000,000
設備更新費用準備資金	-	100,000,000	△ 100,000,000
特定資産受入基金	6,235,425	6,150,740	84,685
公益充実資金	462,921,462	-	462,921,462
特定資産合計	605,200,887	441,073,804	164,127,083
(3)その他固定資産			
土地	3,076,206	3,076,206	-
建物	1,205,213,509	1,233,645,653	△ 28,432,144
建物附属設備	357,453,505	395,629,320	△ 38,175,815
構築物	2,407,624	2,809,888	△ 402,264
建設仮勘定	-	-	-
美術工芸品	280,836,294	103,986,021	176,850,273
器具備品	49,936,032	51,609,461	△ 1,673,429
車両	1	1	-
保証金	30,000	30,000	-
ソフトウェア	510,337	1,069,497	△ 559,160
その他固定資産合計	1,899,463,508	1,791,856,047	107,607,461
固定資産合計	5,437,519,593	5,165,785,049	271,734,544
資産合計	5,797,185,613	5,482,313,076	314,872,537

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
Ⅱ 負債の部			
1. 流動負債			
短期借入金	28,288,000	18,288,000	10,000,000
未払金	29,786,088	21,592,405	8,193,683
未払費用	80,488	-	80,488
前受金	33,165,000	42,310,000	△ 9,145,000
預り金	1,019,415	774,276	245,139
賞与引当金	10,000,000	6,900,000	3,100,000
未払法人税等	1,024,600	175,400	849,200
未払消費税等	17,667,000	-	17,667,000
流動負債合計	121,030,591	90,040,081	30,990,510
2. 固定負債			
長期借入金	249,596,000	182,884,000	66,712,000
退職給付引当金	122,786,000	125,000,000	△ 2,214,000
固定負債合計	372,382,000	307,884,000	64,498,000
負債合計	493,412,591	397,924,081	95,488,510
Ⅲ 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
国庫補助金	202,354,256	223,247,300	△ 20,893,044
寄附金	186,533,507	170,473,031	16,060,476
寄付金償却資産	384,634,113	403,568,355	△ 18,934,242
受贈土地	3,111,206	3,111,206	-
美術工芸品	471,148,442	471,148,442	-
投資有価証券	3,533,750	3,533,750	-
指定正味財産合計	1,251,315,274	1,275,082,084	△ 23,766,810
(うち基本財産への充当額)	(441,137,192)	(441,137,192)	(-)
(うち特定資産への充当額)	(246,665,064)	(246,665,064)	(-)
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	4,052,457,748	3,809,306,911	243,150,837
(うち基本財産への充当額)	(2,491,718,006)	(2,491,718,006)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(235,749,823)	(69,408,740)	(166,341,083)
正味財産合計	5,303,773,022	5,084,388,995	219,384,027
負債及び正味財産合計	5,797,185,613	5,482,313,076	314,872,537

正味財産増減計算書
令和 7年 4月 1日から令和 8年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①基本財産運用収益	1,820,875	1,820,875	-
②特定資産運用益	84,685	150,740	△ 66,055
③入館料	437,825,556	420,432,883	17,392,673
④作品貸出事業収益	18,404,546	11,352,795	7,051,751
⑤図録売上	9,228,800	7,713,285	1,515,515
⑥音声ガイド収入	4,592,174	2,839,273	1,752,901
⑦画像使用料	5,401,257	4,600,421	800,836
⑧収益事業収入	9,429,689	5,136,636	4,293,053
⑨受取補助金等	39,827,286	33,536,942	6,290,344
⑩受取寄付金	8,915,000	7,000,000	1,915,000
⑪雑収益	52,731,230	36,609,573	16,121,657
経常収益計	588,261,098	531,193,423	57,067,675
(2) 経常費用			
①事業費	465,833,767	476,657,529	△ 10,823,762
給料・賞与	163,909,581	166,740,866	△ 2,831,285
賞与引当金繰入額	9,200,000	6,000,000	3,200,000
退職給付費用	10,073,000	5,285,000	4,788,000
法定福利費	20,843,197	20,327,636	515,561
厚生費	0	190,394	△ 190,394
図録等原価支出	6,483,976	4,458,340	2,025,636
減価償却費	81,674,128	62,932,215	18,741,913
旅費交通費	7,474,993	7,861,958	△ 386,965
通信費	2,911,524	2,272,981	638,543
消耗備品費	714,855	196,865	517,990
消耗品費	23,538,029	29,107,273	△ 5,569,244
修繕費	20,220,350	52,123,339	△ 31,902,989
印刷製本費	11,654,210	-	11,654,210
研究活動費	333,788	-	333,788
水道光熱費	21,844,569	22,436,129	△ 591,560
賃借料	11,650,161	10,084,888	1,565,273
情報処理費	3,179,712	102,800	3,076,912
保険料	1,253,850	1,213,360	40,490
諸謝金	635,298	495,740	139,558
租税公課	754,250	18,343,757	△ 17,589,507
教育研修費	7,273	-	7,273
企画制作費	17,190,513	6,858,000	10,332,513
委託費	9,716,222	9,953,944	△ 237,722
図書費	216,935	213,057	3,878
広告宣伝費	2,128,182	12,185,222	△ 10,057,040
清掃費	9,366,627	10,758,981	△ 1,392,354
資料管理費	2,453,629	1,070,000	1,383,629
運送費	7,056,888	3,512,708	3,544,180
諸会費	398,000	418,229	△ 20,229
警備費	3,904,400	3,562,795	341,605
支払手数料	6,822,977	6,355,715	467,262
交際費	305,226	226,642	78,584
絵画補修費	5,654,812	3,072,141	2,582,671
会議費	811,670	172,136	639,534
リース料	54,960	-	54,960
雑費	1,395,982	8,124,418	△ 6,728,436

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
②管理費	54,178,494	60,075,416	△ 5,896,922
給料・賞与	21,488,862	28,019,183	△ 6,530,321
賞与引当金繰入額	800,000	900,000	△ 100,000
退職給付費用	1,460,000	840,000	620,000
法定福利費	3,339,971	4,714,870	△ 1,374,899
厚生費	561,097	552,700	8,397
減価償却費	5,030,784	4,111,299	919,485
旅費交通費	418,404	467,710	△ 49,306
通信費	559,167	393,821	165,346
消耗品費	1,183,323	647,908	535,415
修繕費	50,000	-	50,000
印刷製本費	97,046	-	97,046
水道光熱費	1,552,976	1,594,999	△ 42,023
賃借料	305	305	-
情報処理費	259,980	-	259,980
租税公課	△ 10,157	16,370	△ 26,527
教育研修費	6,364	-	6,364
企画制作費	12,286	-	12,286
委託費	4,721,832	5,709,786	△ 987,954
図書費	135,299	119,424	15,875
清掃費	2,713,000	3,589,000	△ 876,000
諸会費	2,383,577	2,180,636	202,941
支払手数料	2,530,185	-	2,530,185
交際費	76,144	38,682	37,462
会議費	344,160	257,440	86,720
雑費	970,531	3,356,241	△ 2,385,710
支払利息	3,493,358	2,565,042	928,316
経常費用計	520,012,261	536,732,945	△ 16,720,684
評価損益等調整前当期経常当期利益	68,248,837	△ 5,539,522	73,788,359
特定資産評価損益	-	6,000,000	△ 6,000,000
受贈投資有価証券	-	6,000,000	△ 6,000,000
当期経常増減額	68,248,837	460,478	67,788,359
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
美術品受贈益	175,923,000	-	175,923,000
経常外収益計	175,923,000	-	175,923,000
(2) 経常外費用			
経常外費用計	-	-	-
当期経常外増減額	175,923,000	-	175,923,000
他勘定振替額	-	-	-
合併による増減	-	18,962,192	△ 18,962,192
当期一般正味財産増減額	244,171,837	19,422,670	224,749,167
法人税等	1,021,000	175,400	845,600
一般正味財産期首残高	3,809,306,911	3,790,059,641	19,247,270
一般正味財産期末残高	4,052,457,748	3,809,306,911	243,150,837
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
受取補助金等	-	237,850,000	△ 237,850,000
受取寄附金	16,060,476	17,195,922	△ 1,135,446
一般正味財産への振替額	△ 39,827,286	△ 33,536,942	△ 6,290,344
当期指定正味財産増減額	△ 23,766,810	221,508,980	△ 245,275,790
指定正味財産期首残高	1,275,082,084	1,053,573,104	221,508,980
指定正味財産期末残高	1,251,315,274	1,275,082,084	△ 23,766,810
Ⅲ 正味財産期末残高	5,303,773,022	5,084,388,995	219,384,027

正味財産増減計算書内訳書

令和 7年 4月 1日から令和 8年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法 人 会 計	合 計
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
①基本財産運用収益	1,820,875	-	-	1,820,875
②特定資産運用益	84,685	-	-	84,685
③入館料	383,726,664	-	54,092,301	437,818,965
④作品貸出事業収益	18,404,546	-	-	18,404,546
⑤図録売上	9,228,800	-	-	9,228,800
⑥音声ガイド収入	4,592,174	-	-	4,592,174
⑦画像使用料	5,401,257	-	-	5,401,257
⑧収益事業収入	-	9,436,280	-	9,436,280
⑨受取補助金等	39,827,286	-	-	39,827,286
⑩受取寄付金	8,915,000	-	-	8,915,000
⑪雑収益	52,645,037	-	86,193	52,731,230
経常収益計	524,646,324	9,436,280	54,178,494	588,261,098
(2) 経常費用				
①事業費	463,370,624	2,463,143	-	465,833,767
給料・賞与	163,774,581	135,000	-	163,909,581
賞与引当金繰入額	9,200,000	-	-	9,200,000
退職給付費用	10,073,000	-	-	10,073,000
法定福利費	20,843,197	-	-	20,843,197
厚生費	-	-	-	-
図録等原価支出	6,483,976	-	-	6,483,976
減価償却費	81,674,128	-	-	81,674,128
旅費交通費	7,474,993	-	-	7,474,993
通信費	2,911,524	-	-	2,911,524
消耗備品費	714,855	-	-	714,855
消耗品費	21,262,196	2,275,833	-	23,538,029
修繕費	20,220,350	-	-	20,220,350
印刷製本費	11,654,210	-	-	11,654,210
研究活動費	333,788	-	-	333,788
水道光熱費	21,814,569	30,000	-	21,844,569
賃借料	11,650,161	-	-	11,650,161
情報処理費	3,179,712	-	-	3,179,712
保険料	1,253,850	-	-	1,253,850
諸謝金	635,298	-	-	635,298
租税公課	731,940	22,310	-	754,250
教育研修費	7,273	-	-	7,273
企画制作費	17,190,513	-	-	17,190,513
委託費	9,716,222	-	-	9,716,222
図書費	216,935	-	-	216,935
広告宣伝費	2,128,182	-	-	2,128,182
清掃費	9,366,627	-	-	9,366,627
資料管理費	2,453,629	-	-	2,453,629
運送費	7,056,888	-	-	7,056,888
諸会費	398,000	-	-	398,000
警備費	3,904,400	-	-	3,904,400
支払手数料	6,822,977	-	-	6,822,977
交際費	305,226	-	-	305,226
絵画補修費	5,654,812	-	-	5,654,812
会議費	811,670	-	-	811,670
リース料	54,960	-	-	54,960
雑費	1,395,982	-	-	1,395,982

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法 人 会 計	合 計
②管理費	-	-	54,178,494	54,178,494
給料・賞与	-	-	21,488,862	21,488,862
賞与引当金繰入額	-	-	800,000	800,000
退職給付費用	-	-	1,460,000	1,460,000
法定福利費	-	-	3,339,971	3,339,971
厚生費	-	-	561,097	561,097
減価償却費	-	-	5,030,784	5,030,784
旅費交通費	-	-	418,404	418,404
通信費	-	-	559,167	559,167
消耗品費	-	-	1,183,323	1,183,323
修繕費	-	-	50,000	50,000
印刷製本費	-	-	97,046	97,046
水道光熱費	-	-	1,552,976	1,552,976
賃借料	-	-	305	305
情報処理費	-	-	259,980	259,980
租税公課	-	-	△ 10,157	△ 10,157
教育研修費	-	-	6,364	6,364
企画制作費	-	-	12,286	12,286
委託費	-	-	4,721,832	4,721,832
図書費	-	-	135,299	135,299
清掃費	-	-	2,713,000	2,713,000
諸会費	-	-	2,383,577	2,383,577
支払手数料	-	-	2,530,185	2,530,185
交際費	-	-	76,144	76,144
会議費	-	-	344,160	344,160
雑費	-	-	970,531	970,531
支払利息	-	-	3,493,358	3,493,358
経常費用計	463,370,624	2,463,143	54,178,494	520,012,261
評価損益等調整前当期経常当期利益	61,275,700	6,973,137	-	68,248,837
特定資産評価損益	0	-	-	0
受贈投資有価証券		-	-	0
当期経常増減額	61,275,700	6,973,137	-	68,248,837
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
美術品受贈益	175,923,000			
経常外収益計	175,923,000	-	-	175,923,000
(2) 経常外費用				
経常外費用計	-	-	-	-
当期経常外増減額	175,923,000	-	-	175,923,000
収益事業からの寄付	3,486,568	△ 3,486,568		-
合併による一般正味財産	-	-	-	-
当期一般正味財産増減額	240,685,268	3,486,569	-	244,171,837
法人税等	-	1,021,000	-	1,021,000
一般正味財産期首残高	3,809,306,911	-	-	3,809,306,911
一般正味財産期末残高	4,049,992,179	2,465,569	-	4,052,457,748
Ⅱ 指定正味財産増減の部				
受取寄附金等	-	-	-	-
受取寄付金	16,060,476	-	-	16,060,476
寄付金償却資産	△ 39,827,286	-	-	△ 39,827,286
当期指定正味財産増減額	△ 23,766,810	-	-	△ 23,766,810
指定正味財産期首残高	1,275,082,084	-	-	1,275,082,084
指定正味財産期末残高	1,251,315,274	-	-	1,251,315,274
Ⅲ 正味財産期末残高	5,301,307,453	2,465,569	-	5,303,773,022

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

該当ありません。

2. 重要な会計方針

- ① 有価証券の評価基準及び評価方法
移動平均法による原価法によっている。
- ② 棚卸資産の評価基準及び評価方法
複製図録……移動平均法による原価法によっている。
- ③ 固定資産の減価償却の方法
建物及び什器備品等……定額法によっている。
- ④ 引当金の計上基準
1)貸倒引当金 …… 個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額で計上している。
2)賞与引当金 …… 職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。
3)退職給付引当金 …… 職員の期末退職給付要支給額に相当する金額を計上している。
- ⑤ リース取引の処理方法
リース取引の処理方法については重要性がとばしいため、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。
- ⑥ 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税抜方式によっている。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。(単位:円)

科 目		前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産	建物	2	-	-	2
	土地	4,087,000	-	-	4,087,000
	美術工芸品	2,925,090,681	-	-	2,925,090,681
	投資有価証券	3,583,750	-	-	3,583,750
	所蔵品(基)	93,765	-	-	93,765
	小 計	2,932,855,198	-	-	2,932,855,198
特定資産	所蔵品	13,258,000	-	-	13,258,000
	退職給付引当資産	125,000,000	-	2,214,000	122,786,000
	備品等取得積立資産	146,665,064	-	146,665,064	-
	公益目的積立定期預金	50,000,000	-	50,000,000	-
	設備更新費用準備資金	100,000,000	-	100,000,000	-
	特定資産受入基金	6,150,740	235,425	150,740	6,235,425
	公益充実資金	-	462,921,462	-	462,921,462
	小 計	441,073,804	463,156,887	299,029,804	605,200,887
合 計		3,373,929,002	463,156,887	299,029,804	3,538,056,085

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。(単位:円)

科 目		当期末残高	うち指定正味財産 からの充当額	うち一般正味財産 からの充当額	うち負債に対応する額
基本財産	建物	2	-	2	-
	土地	4,087,000	35,000	4,052,000	-
	美術工芸品	2,925,090,681	437,568,442	2,487,522,239	-
	投資有価証券	3,583,750	3,533,750	50,000	-
	所蔵品(基)	93,765	-	93,765	-
	小 計	2,932,855,198	441,137,192	2,491,718,006	-
特定資産	所蔵品	13,258,000	-	13,258,000	-
	退職給付引当資産	122,786,000	-	-	122,786,000
	備品等取得積立資産	-	-	-	-
	公益目的積立定期預金	-	-	-	-
	設備更新費用準備資金	-	-	-	-
	特定資産受入基金	6,235,425	-	6,235,425	-
	公益充実資金	462,921,462	246,665,064	216,256,398	-
	小 計	605,200,887	246,665,064	235,749,823	122,786,000
合 計		3,538,056,085	687,802,256	2,727,467,829	122,786,000

5. 担保に供している資産

該当ありません。

6. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。（単位：円）

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
土地	3,076,206	-	3,076,206
建物	2,174,590,316	969,376,807	1,205,213,509
建物附属設備	1,044,899,303	687,445,798	357,453,505
構築物	64,596,354	62,188,730	2,407,624
美術工芸品	280,836,294	-	280,836,294
器具備品	230,105,185	180,169,153	49,936,032
車両運搬具	1,294,130	1,294,129	1
保証金	30,000	-	30,000
ソフトウェア	3,295,800	2,785,463	510,337
合 計	3,802,723,588	1,903,260,080	1,899,463,508

7. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高

債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高は次のとおりである。（単位：円）

科 目	債権金額	貸倒引当金の当期末残高	債権の当期末残高
売掛金	18,828,070	-	18,828,070
未収入金	2,389,968	-	2,389,968
合 計	21,218,038	-	21,218,038

8. 保証債務等の偶発債務

該当ありません。

9. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益

該当ありません。

10. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

該当ありません。

11. 基金及び代替基金の増減額及びその残高

基金及び代替基金の増減額及びその残高は、次のとおりである。（単位：円）

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基金	6,150,740	84,685	-	6,235,425
基 金 計	6,150,740	84,685	-	6,235,425

12. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

内 容	金 額（円）
経常収益への振替額	
受取補助金等	20,893,044
寄付金償却資産償却額	18,934,242
合 計	39,827,286

13. 関連当事者との取引の内容

関連当事者との取引の内容は、次のとおりである。

属性	職業	取引内容	取引金額(円)	勘定科目	取引条件
理事	絵画修復家	絵画の修復	2,967,273	絵画修復費	理事会の決議により決定

14. 重要な後発事象

該当ありません。

貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書

①重要な固定資産の明細及び引当金の明細については、財務諸表に対する注記に記載済み

財 産 目 録
令和 8年 3月31日現在

(単位:円)

科 目	場所・物量等	使用目的等	金 額
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金手許有高	手許保管		5,286,466
預金	普通預金 中国銀行倉敷駅前支店他		326,847,253
売掛金			18,828,070
未収入金			2,389,968
立替金			2,607,723
複製図録等		商品、貯蔵品在庫	3,706,540
流動資産合計			359,666,020
2. 固定資産			
(1)基本財産			
建物	財産目録明細書に記載	公益目的保有財産であり、(公 1)に供している。	2
土地	財産目録明細書に記載	公益目的保有財産であり、(公 1)に供している。	4,087,000
美術工芸品	財産目録明細書に記載	公益目的保有財産であり、美術品等の収集、保存、展示、研究、普及等を通じて、芸術文化の発展に貢献する	2,925,090,681
投資有価証券	財産目録明細書に記載	公益目的保有財産であり、運用益を(公 1)の財源として使用している。	3,583,750
所蔵品(基)	財産目録明細書に記載	公益目的保有財産であり、運用益を(公 1)の財源として使用している。	93,765
基本財産合計			2,932,855,198
(2)特定資産			
所蔵品	財産目録明細書に記載	公益目的保有財産であり、(公 1)に供している。	13,258,000
退職給付引当資産	定期預金 中国銀行		122,786,000
特定資産受入基金		公益目的保有財産であり、(公 1)の積立資産であり、費用準備資金として 管理されている預金である。	6,235,425
公益充実資金	定期預金 中国銀行他	公益目的保有財産であり、(公 1)の積立資産であり、費用準備資金として 管理されている預金である。	462,921,462
特定資産合計			605,200,887
(3)その他固定資産			
土地		(公 1)に供している。	3,076,206
建物		(公 1)及び法人会計に供している。	1,205,213,509
建物附属設備		(公 1)及び法人会計に供している。	357,453,505
構築物		(公 1)に供している。	2,407,624
美術工芸品		(公 1)に供している。	280,836,294
器具備品		(公 1)及び法人会計に供している。	49,936,032
車両		(公 1)に供している。	1
保証金		(公 1)に供している。	30,000
ソフトウェア		(公 1)に供している。	510,337
その他固定資産合計			1,899,463,508
固定資産合計			5,437,519,593
資産合計			5,797,185,613

Ⅱ 負債の部			
1. 流動負債			
短期借入金		一年以内返済長期借入金	28,288,000
未払金		社会保険料の未払分等	29,786,088
未払費用			80,488
前受金		次年度分売上金	33,165,000
預り金		社会保険料の職員預り分等	1,019,415
賞与引当金			10,000,000
未払法人税等			1,024,600
未払消費税等			17,667,000
流動負債合計			121,030,591
2. 固定負債			
長期借入金	中国銀行倉敷支店 商工中金岡山支店	児島虎次郎記念館建設工事費 コロナ対策融資	179,956,000 69,640,000
退職給付引当金		職員への退職金支払いに備えたもの	122,786,000
固定負債合計			372,382,000
負債合計			493,412,591
正味財産合計			5,303,773,022
負債および正味財産合計			5,797,185,613

財産目録明細書

令和 8年 3月31日現在

1. 現金

資産種別	金額(円)	備 考
普通財産	5,286,466	
合 計	5,286,466	

2. 預 金

資産種別	種 類	金額(円)	預 入 先	備 考
普通財産	普通預金	190,598,929	中国銀行倉敷駅前支店	
	"	85,076,385	中国銀行倉敷支店	
	"	572,635	みずほ銀行倉敷支店	
	"	38,437	三井住友銀行岡山支店	
	"	8,368	ゆうちょ銀行	
	"	25,967	玉島信用金庫鶴形支店	
	"	1,285,544	商工中金岡山支店	
	"	26,988	山陰合同銀行倉敷支店	
	定期預金	39,214,000	中国銀行倉敷駅前支店	
	"	10,000,000	山陰合同銀行倉敷支店	
特定財産	"	122,786,000	中国銀行倉敷駅前支店	退職給付引当資産
	"	262,921,462	"	公益充実資金
	"	50,000,000	みずほ銀行、玉島信用金庫	公益充実資金
	"	235,425	中国銀行倉敷駅前支店	特定資産受入基金
	普通預金	150,000,000	"	公益充実資金
合 計		912,790,140		

3. 売掛金

資産種別	金額(円)	備 考
普通財産	18,828,070	作品貸出料、図録・絵葉書販売代金、画像使用料
合 計	18,828,070	

4. 未収入金

資産種別	金額(円)	備 考
普通財産	2,389,968	クレジット会社他
合 計	2,389,968	

5. 立替金

資産種別	金額(円)	備 考
普通財産	2,607,723	出向負担金
合 計	2,607,723	

6. 複製図録等

資産種別	種 類	帳簿価格(円)	備 考
普通財産	棚卸資産	3,706,540	図録5種
合 計		3,706,540	

7. 土 地

資産種別	用 途	位 置	面積(㎡)	取得年月日	帳簿価格(円)	備考
基本財産	本館及び附属建物敷地	倉敷市中央1丁目	1,407.86	昭和10. 3.16	21,000	
	附属別館有隣荘 敷地	"	924.94	"	14,000	
	倉敷考古館 敷地	"	119.08		4,052,000	
普通財産	工芸館収蔵庫 敷地	倉敷市中央1丁目	44.81	平成23. 4. 1	3,076,206	
合 計			2,377.61		7,163,206	

なお、分館敷地は倉敷市中央1丁目の土地2,279.80㎡を倉敷市より借受け、工芸館の敷地は倉敷市中央1丁目の土地1,431.59㎡を土蔵8棟と共に株式会社三楽より借受けている。

また、平成3年10月1日に開場した本館展示棟の敷地としては、倉敷市中央1丁目新溪園内の土地884.09㎡を平成2年3月2日より倉敷市から借受けている。

令和3年10月1日に完成した児島虎次郎記念館の敷地803.8㎡は平成28年5月16日より(株)三楽より借受けている。

7. 美術工芸品

資産種別	部 門	数量(件)	帳簿価格(円)	備 考
基本財産	西欧絵画	339	1,668,827,604	
	西欧彫刻	25	297,507,912	
	日本人絵画	391	649,769,223	
	児島虎次郎絵画	172	145,000	
	日本人彫刻	29	86,619,198	
	中国絵画	2	5,700,000	
	日本東洋古美術	125	100,002,400	
	古美術考古資料	319	64,365,780	
	陶器他	394	29,559,163	
	板画	132	4,933,381	
	染色工芸品	103	12,363,100	
	オリエント古美術	265	94,820	
	外邦古陶器	81	45,100	
	フォスタット発掘片	390	10,000	
	コプト織裂	46	5,148,000	
小 計		2,813	2,925,090,681	
普通財産	日本人絵画 他	196	280,836,294	当期取得／日本人絵画1点、西洋絵画2点
小 計		196	280,836,294	
合 計		3,009	3,205,926,975	

8. 投資有価証券

資産種別	種 別	株数(株)	額面価格(円)	帳簿価格(円)	備 考
基本財産	株式会社クラレ 株式	1,000	50,000	50,000	
	株式会社三楽 株式	70,675	3,533,750	3,533,750	
合 計			3,583,750	3,583,750	

全株式の20%以上の株式保有の企業

名称・所在地	株式会社三楽 倉敷市阿知2丁目25番33号			
資本金	1,000万円			
事業内容	1. 不動産の賃貸業 2. 音楽興業(クラシック音楽)			
役員	6名(取締役 5名、監査役 1名) 代表取締役社長 虫明優			
従業員	23名			
保有株式	70,675株(発行済株式の総数14万1570株) 内 優先株 70,675株(49.92%)			
保有理由	基本財産として保有			
入手日	昭和43年10月14日			
当該企業との関係				
人事関係	代表理事	大原あかね	株式会社三楽取締役	
	評議員	大原謙一郎	同	代表取締役
	評議員	虫明 優	同	代表取締役
取引関係	なし			

9. 所蔵品

資産種別	部 門	数量(件)	帳簿価格(円)	備 考
基本財産	縄文土器など	84	93,765	
特定資産	銅剣など	2,007	13,258,000	
合 計		2,091	13,351,765	

10. 建 物(普通財産)

資産種別	用 途	場 所	構 造	建坪及延坪(㎡)	取得年月日	帳簿価額(円)	備 考
基本財産	陳列館	中央 1丁目	鉄筋コンクリート	164.13		1	考古館
	倉庫			26.17		1	〃
普通財産	陳列館	中央 1丁目	鉄筋コンクリート	296.13 564.49	昭和10. 3.16	1	本 館
	臨時陳列他	〃	木造瓦葺	76.80 413.03	〃	1	〃
	〃	〃	瓦葺屋根改修		平成 5. 4. 8	1	〃
	〃	〃	屋根改修		平成 6.12.26	1	〃
	〃	〃	軒裏改修		平成15. 7.28	391,144	〃
	〃	〃	新館屋根防水		平成28.12	576,667	〃
	〃	〃	鉄筋コンクリート	屋上・壁面改造	昭和46. 8.31	1,334,490	〃
	〃	〃	〃	584.81 1,331.84	平成 3. 9.30	230,466,035	本館増築
	〃	〃	〃	本館改修	〃	15,797,640	本 館
	〃	〃	石造レリーフ壁		〃	20,386,881	アトリウム
	〃	〃	館内壁面装飾品	(磯辺行久 作品)	〃	1	本館増築
	アトリウム 事 務 棟	〃	鉄筋コンクリート	302.23 807.28	〃	129,947,028	
	陳列館	〃	〃	662.19	昭和36. 3.31	3,530,564	分 館
	〃	〃	〃	37.78 702.55	昭和63. 2.29	110,850,744	〃
	〃	〃	収蔵庫改修		平成 5. 4. 8	3,782,051	
	〃	〃	土蔵造	陶器	昭和36. 3.31	1	陶 器 館
	事務室書庫	〃	〃		昭和38. 5.31	1	〃
	陳列館	〃	〃	板画	昭和38.11.29	1	板 画 館
	〃	〃	〃	染色	〃	1	染 色 館
	〃	〃	〃		昭和46. 3.25	1	東 洋 館
	〃	〃	鉄筋コンクリート		〃	1,197,579	〃
	〃	〃	土蔵造外壁	外壁改修	平成 3. 9.30	1	工 芸 館
	警備室	〃	補強コンクリート ブロック造	24.25	昭和46. 8.31	217,330	
	〃	〃		13.80	昭和63. 6.30	1,937,376	
	〃	〃	〃		平成 3. 9.30	439,712	券 売 場
	物置小屋	〃	木造		平成 3.12.20	1	
	陳列館	〃	鉄筋コンクリート	外壁塗	平成12. 4.28	8,049,600	本 館
	〃	〃	土蔵造	屋根瓦取替	平成12. 8.30	755,686	工 芸 館
	〃	〃	鉄筋コンクリート	トイレ修理	平成13. 4.26	489,600	分 館
	〃	〃	土蔵造	屋根瓦取替	平成13. 5.30	151,687	浜 田 室
	〃	〃	〃	屋根瓦取替	平成14. 5.29	195,107	河 井 室
	〃	〃	鉄筋コンクリート	外壁塗	平成18. 3.28	236,060	分 館
	〃	〃	土蔵造	格子窓修理	平成18. 5.10	162,500	富 本 室
	〃	〃	鉄筋コンクリート	改修工事	平成19. 3.25	53,760,785	分 館
	〃	〃	鉄筋コンクリート	新収蔵庫棟工事	平成21. 4.29	165,899,050	分 館
	工芸収蔵庫	〃	土蔵造		平成23. 4. 1	1	工 芸 館
	陳列館	本町	鉄筋コンクリート	店舗部分	平成28.5.1	2,057,468	旧中銀
	〃	〃	〃		令和3.10.1	444,414,377	児島虎次郎記念館
	〃	〃	〃		令和8.3.1	8,186,333	分 館
合 計						1,205,213,509	

11. 建物附属設備

資産種別	種 類	帳簿価格(円)	備 考
普通財産	展示設備	156,171,645	大原美術館
	空調設備	65,054,556	〃
	エレベーター	63,287,432	〃
	防犯警備装置	46,187,741	〃
	電気設備	18,171,467	〃
	通信設備	4,140,000	〃
	給排水設備	4,168,962	〃
	火災報知器	7	〃
	電気設備	271,695	倉敷考古館
合 計		357,453,505	

12. 構 築 物

資産種別	種 類	数 量	取得年月日	帳簿価格(円)	備考
普通財産	人造溝及庭園 他	1	昭和46. 3.25	16	
	陳列用台石	一式	〃	1	
	腰掛石	7	昭和47. 8. 2	1	
	灰皿石	7	〃	1	
	彫刻台石	1	昭和53.11.30	451,040	
	分館前庭	1	昭和63. 2.29	1	
	人工溝止水	一式	平成12. 8.30	929,400	
	通用門	1	平成31.3.1	408,334	
	正門	1	平成31.3.1	618,830	
合 計				2,407,624	

13. 器具備品

資産種別	種 類	帳簿価格(円)	備 考
普通財産	陳列ケース及台等	49,936,032	
合 計		49,936,032	

14. 車両運搬具

資産種別	種 類	帳簿価格(円)	備 考
普通財産	営業車	1	
合 計		1	

15. 保証金

資産種別	種 類	帳簿価格(円)	備 考
普通財産	共済組合出資金	30,000	商工中金
合 計		30,000	

16. ソフトウェア

資産種別	種 類	帳簿価格(円)	備 考
普通財産	音声ガイドシステム他	510,337	
合 計		510,337	